

「総合計画」と「総合戦略」の違い

総合計画	総合戦略
<ul style="list-style-type: none">・まちづくりの将来像を示す最上位計画	<ul style="list-style-type: none">・人口減少対策・地方創生に特化した取組を位置づける計画
<ul style="list-style-type: none">・行政運営全体の基本方針(7つの柱)・分野横断的な施策体系(26施策) ※成果指標を設定	<ul style="list-style-type: none">・4つの戦略目標・主な施策と事業 ※重要業績評価指標(KPI)を設定
<ul style="list-style-type: none">・長期的視点 (約10年:前期5年、後期5年)	<ul style="list-style-type: none">・中期的視点 (約5年)

- 総合計画に総合戦略を包含させ、両計画を一体的に策定することにより、取り組みの整合性と一貫性を確保。
- 両計画の進行管理や評価・検証についても一体的に行うことで、効果的・効率的な運用を図る。



○かがみの創生総合戦略とは

国と岡山県が策定した総合戦略を勘案して、地域の実情に応じて鏡野町が独自に策定する「地方版総合戦略」です。

これは、「地域の人口ビジョン」や将来目標、施策や具体的な数値目標(KPI)などを示す計画で、鏡野町が自ら課題と向き合い戦略的に地方創生に取り組むための重要な設計図です。

○地方創生交付金とは

国が地方公共団体に対して、地方版総合戦略に位置付けられた地方創生の取組を支援するために支給する交付金制度です。

地域課題の解決、産業振興、移住・定住支援、地域資源の活用などの多岐にわたる取組を支援します。

KPI(重要業績評価指標)を設定し、年度ごとに効果検証を行いながら進めます。